

生理検査

総括	野久 謙	岐阜大学医学部附属病院
心電図	小路 達也	岐阜県総合医療センター
心臓超音波	倉家 淳	高山赤十字病院
血管超音波	市川 浩良	中津川市民病院
腹部超音波	渡邊 恒夫	岐阜大学医学部附属病院
神経生理	中島 直美	大垣市民病院

生理検査総括

野久 謙

[岐阜大学医学部附属病院]

2016 年度も従来通り日臨技システムを利用した出題形式となった。昨年とのシステム上の変更点は無い。

動画閲覧状況のアンケートでは、回答のあった 18 施設中 15 施設で『ほぼ問題なく表示された』であった。『閲覧することができなかった』が 1 施設あり電話で聞き取り調査を行ったが、最新の OS (Windows10) での閲覧が出来なかったとのことであり、来年度以降修正が必要であると考え。最終的には今回も全施設が閲覧できた。

本年度の参加施設数は、総数36施設、心電図 33 (36) / 心臓超音波 29 (31) / 血管超音波 23 (23) / 腹部超音波 17(19) / 神経生理検査 脳波 26 (27) 神経伝導速度 21 (26) であった。

※ () 内は前年度件数。

本年度設問数は、心電図 4問/ 心臓超音波 4問/ 血管超音波 2問/ 腹部超音波 4問/ 神経生理検査 4問で、昨年と同様であった。呼吸機能検査は出題者選出が出来ず、実施できなかった。また、評価対象外とした設問は無かった。

本年度においても、精度管理調査が検査データの是正に役立つよう 1 次評価公開後に再入力期間を設け、昨年同様、再入力期間に結果の訂正を行った施設には「是正処理報告書」を提出して戴いた。

実際に再入力を実施した施設は、参加36施設中18施設と、昨年とほぼ同様の半数に上った。「是正処理報告書」の提出は12施設 (24通) で、6施設が未提出であった。

なお、設問ごとの再入力実施状況を以下に示す。
心電図：(設問2) 1/33施設, (設問3) 4/33施設, (設問4) 3/33施設. 心臓超音波：(設問1) 3/29施設, (設問2) 1/29施設, (設問3) 1/29施設, (設問4) 3/29施設. 血管超音波：(設問1) 1/23施設. 腹部超音波：(設問1) 3/17施設, (設問2) 5/17施設, (設問4) 3/17施設. 神経生理：(設問1) 6/26施設, (設問3) 5/23施設であった。

分野別正答率は、1次→2次の比較において、心電図：(設問1) 100→100 %, (設問2) 97.0→100 %, (設問3) 84.8→97.0 %, (設問4) 90.9→100 %.
心臓超音波：(設問1) 89.7→100 %, (設問2) 96.6→100 %, (設問3) 96.6→100 %, (設問4) 86.2→96.6 %.
血管超音波：(設問1) 95.7→100 %, (設問2) 95.7→95.7 %.
腹部超音波：(設問1) 82.4→100 %, (設問2) 41.2→70.6 %, (設問3) 100→100 %, (設問4) 56.3→68.8 %.
神経生理：(設問1) 65.4→88.5 %, (設問2) 100→100 %, (設問3) 69.6→91.3 %, (設問4) 100→100 %.
以上の結果であった。

来年度への課題としては、引き続き①呼吸機能検査関連のサーベイの実施、②「是正処理報告書」の提出率を100%とすることなどの他、③再入力期間の在り方について検討を加える必要があると考える。